

「発達障害と精神疾患」～心と身体の関係性から紐解く～

講師：鹿島 直之 氏（精神保健指定医、町田まごころクリニック院長）

日時：令和6年7月24日（水）9時15分～11時45分

場所：七生公会堂（京王線・多摩都市モノレール 高幡不動駅 下車5分）

内容：今年度の夏の研修会では、町田市の精神科クリニックの院長を務め、精神科専門医であり、町田の中学校の精神科校医を兼任されている鹿島先生を初めてお招きするに至りました。鹿島先生は、精神科一般に加え、小児精神科の診療にも従事されています。さらに、町田市の引きこもりの対応にもあたっているカウンセリングのNPO法人「ここからネット」の会長も務めている他、成城大学、日本大学、アルファ医療福祉専門学校でカウンセリングや精神医療についての教鞭をとられ、教育の場でも活躍されています。また先生は、薬物療法に偏らず、日本独自の森田療法を初め、現在その有用性が見直されている瞑想等、個人に合わせて様々な視点からアプローチをしていくという治療方針をもっています。実は学校現場で配慮が必要な子どもたちに対しても、同じような視点をもち、治療的・療育的な対応が求められ、正にそれが「合理的配慮」に当たると見えるでしょう。これまでの先生の様々な実践経験から、教員でもできる具体的で望ましい対応、および支援者に求められる心のあり方やその保ち方を、学んでいただきたいと思います。貴重なお話を聞けるチャンスです。この機会をお見逃しなく。